

第16回 定時株主総会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2018年6月22日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1 今後の取り組みと成長イメージ

2 2019年3月期 業績予想

1 今後の取り組みと成長イメージ

2 2019年3月期 業績予想

今後の取り組み

- 「RS1」量産開始によりSoCビジネスの本格立ち上げ
 - ・複数の大手有力顧客で採用されたことで、業界標準プラットフォームを目指し顧客製品立ち上げサポートに注力
- ZIAプラットフォーム製品の拡販及びポートフォリオ拡充
 - ・ZIA Classifierの新規顧客開拓
 - ・DV700/DV500のIPライセンス及びFPGAモジュールビジネスの推進
- アライアンスの推進
 - ・パートナー企業との協業によるAIソリューション提供
- NEDO 省電力AIエンジン受託開発の推進
- 車載機器メーカー向けAI関連プロフェッショナルサービスの推進

戦略的提携の推進

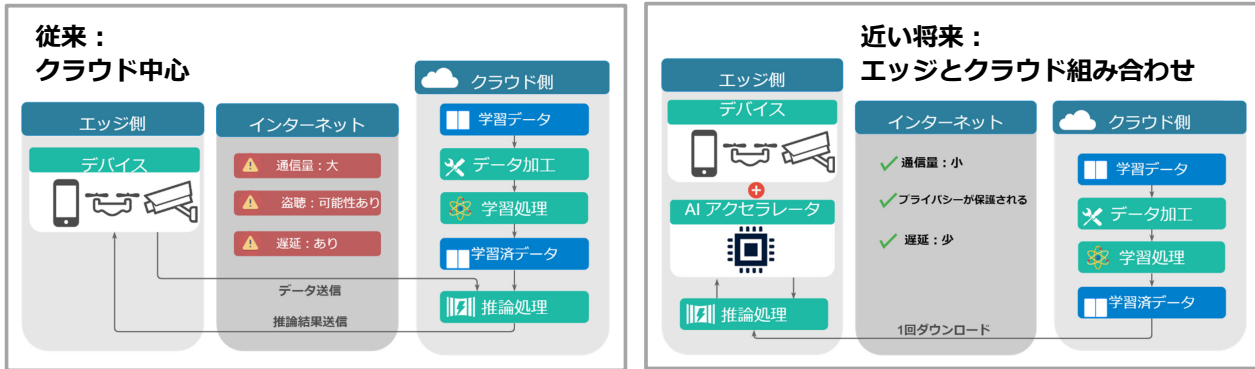
業務資本提携先である(株)UKCホールディングスとの取り組みにつきましては、LSI事業におけるチャネルパートナーとして協業するほか、今後は共同でAI向けソリューション開発を行っていきます。



株式会社 UKCホールディングス

巨大データを扱う学習処理はクラウド上で処理する一方、推論処理はエッジ側で行うエッジAIが主流に

- ✓ リアルタイム性に優れる
- ✓ プライバシー保護
- ✓ ネットワーク帯域及び電力削減



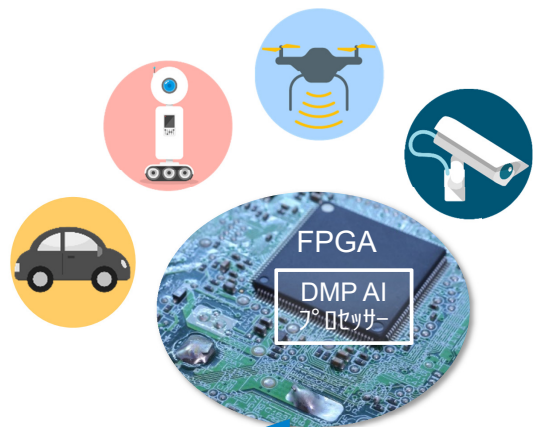
推論処理の75%はエッジ側、またはエッジ側とクラウド側の組み合わせで実現
(Embedded Vision Alliance Survey Dec. 2017)

AIアクセラレーターとしてFPGA（書き換え可能な論理回路LSI）の利用が増加

- ✓ 汎用GPUに比べ高い電力性能
- ✓ ASICに比べ書き換え可能で柔軟性に優れ、ローコストで開発可能
- ✓ 最新のAIアルゴリズムに追従、短期間で製品化可能
- ✓ 部品の長期供給をサポート

	CPU	GPU	FPGA	ASIC
リアルタイム性	×	○	○	◎
低消費電力	×	×	○	◎
柔軟性	○	○	○	×
長期供給	△	×	◎	○

画像処理/AI半導体として40%の顧客がFPGAを使用
(Embedded Vision Alliance Survey Mar. 2018)

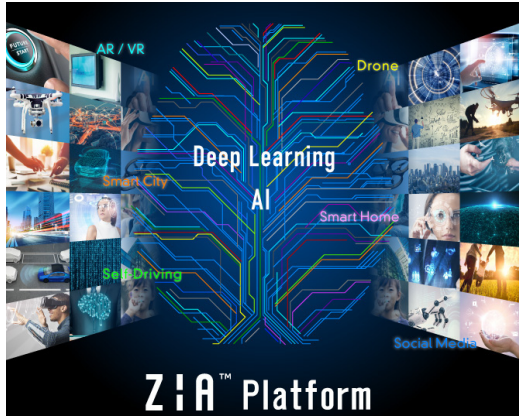


エッジAIを搭載した製品が短期間で開発可能

DeepLearning / AI / ZIA™

ZIA™ Z Intelligence Accelerator

- 日本で唯一のGPUベンダーとして創業以来蓄積してきた技術をベースに、AI/Deep Learningに対する知見を融合した新しいソフトウェア・ハードウェア製品で構成される、DMPのAIプラットフォーム



Software Product

ZIA™ Classifier

発売中

画像分類エンジン
(2016年11月)

Hardware Product

ZIA™ DV700

発売中

エッジ向けAIプロセッサ
第一弾 (2017年4月)

ZIA™ DV500

NEW

新発売

エッジ向けAIプロセッサ
第二弾 (2018年4月)

ZIA™ AI LSI

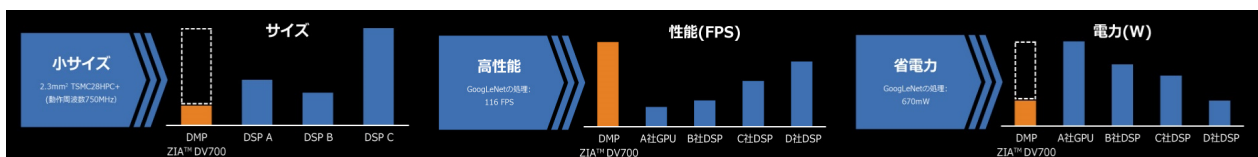
開発中

ZIA DV700エッジAIプロセッサIP

あらゆるデータに対応する、Deep Learningの推論処理特化超低消費電力プロセッサIPコア

ZIA™ DV700

- DMPのAI技術を活用した製品プラットフォーム「ZIA」の第2弾製品
- 画像、動画、音声などといったあらゆるデータに対する推論処理を可能にする、エッジ側AI処理に適した超低消費電力プロセッサIP
- 低消費電力、高性能を実現しながら、防犯カメラなど様々なアプリケーションで求められる機能、性能に対応可能な柔軟性を実現



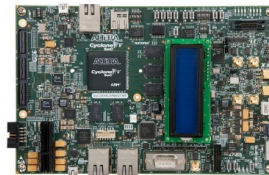
ローコストFPGA搭載可能なエッジAIプロセッサ 産業機器や車載機器のエッジAI実用化を加速

ZIA™ DV500

NEW



産業機器や自動車運転支援システムでよく使われるシーン理解や物体認識機能（SSD/SegNET）に最適化

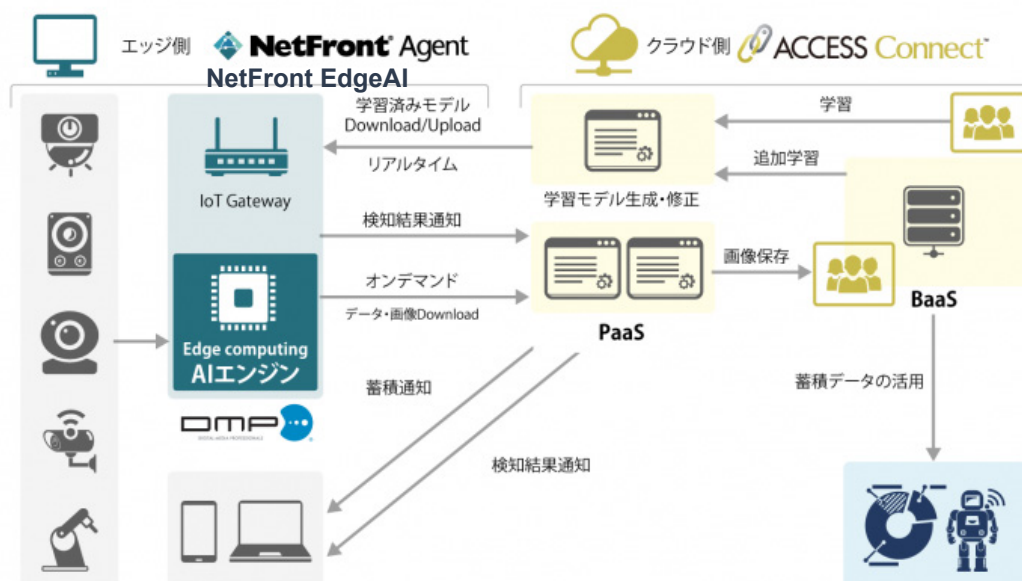


Intel Cyclone V, Xilinx Zynq7000他、ローエンドFPGAに搭載可能
(注：写真はCyclone® V SX SoC 開発ボード)

- ◆ ZIA™ DV500による物体検出の例（SSD Multibox detection）
車（Car）、バイク（Motorbike）、自転車に乗っている人（human）を認識

ACCESSと提携 (2018年4月)

IoTソリューションのワンストップカンパニー ACCESS社と IoT・エッジコンピューティング技術のAI化で協業 (2018年4月)



リモートでエッジの学習済みモデルの 更新、死活監視、ファームウェアアップデートが可能

自動運転アルゴリズムの開発、CPU/GPU実装、およびHWアクセレータの開発



Cyber AI Divisionの新設（2018年3月）

AI、GPU、コンピューターサイエンスを専門とする世界各国の技術者がDMPでAI活用の研究開発や革新的な製品・サービスの開発に取り組んでいます。

CYBERAILAB
AI THAT MOTIVATES YOU

HOME DEMO ABOUT

All Posts FPGA Tutorial Machine Learning Computer Vision More

Search Login / Sign up

Stixel from Single Monocular Images
CyberAILab Apr 25 · 3 min
Stixel is a Medium-level representation of images on traffic scenes, indicating free space, the obstacles ahead and their approximate depth. Usually a stereo image pair is needed to compute the Disparity (Depth) Map. In this post, we in...

SSD Multibox Detection Running on FPGA (DV500/DV700)
CyberAILab Apr 24 · 3 min
This post demonstrates the Single Shot Multibox Detector(SSD) result on PC

DMP CyberAI Divisionの
ホームページでDMPのAIに対する
取り組みを紹介していきます

<https://www.cyberailab.com/>



Computer
Vision



FPGA



Machine
Learning



Self-driving Car

新しい成長領域の確立

成長するIoT・AI(人工知能)分野へ拡大

AIアルゴリズム、ソフトウェア、ハードウェアを一貫して開発

勝てる「アミューズメント市場」で SoCビジネス基盤確立

- ・ 新製品「RS1」の量産化
- ・ 業界標準プラットフォームを目指す

ZIAプラットフォームの展開

- ・ エッジAIプロセッサ
- ・ ソフトウェア
- ・ モジュール
- ・ パートナーとのソリューション提供
- ・ 海外展開

自動車向けを中心としたプロフェッショナルサービス拡大

- ・ 自動運転アルゴリズム

SoC/モジュールビジネス拡大

- ・ アミューズメントSoCトップシェア
- ・ ハイボリュームAI製品

現在地

フェーズ1

フェーズ2

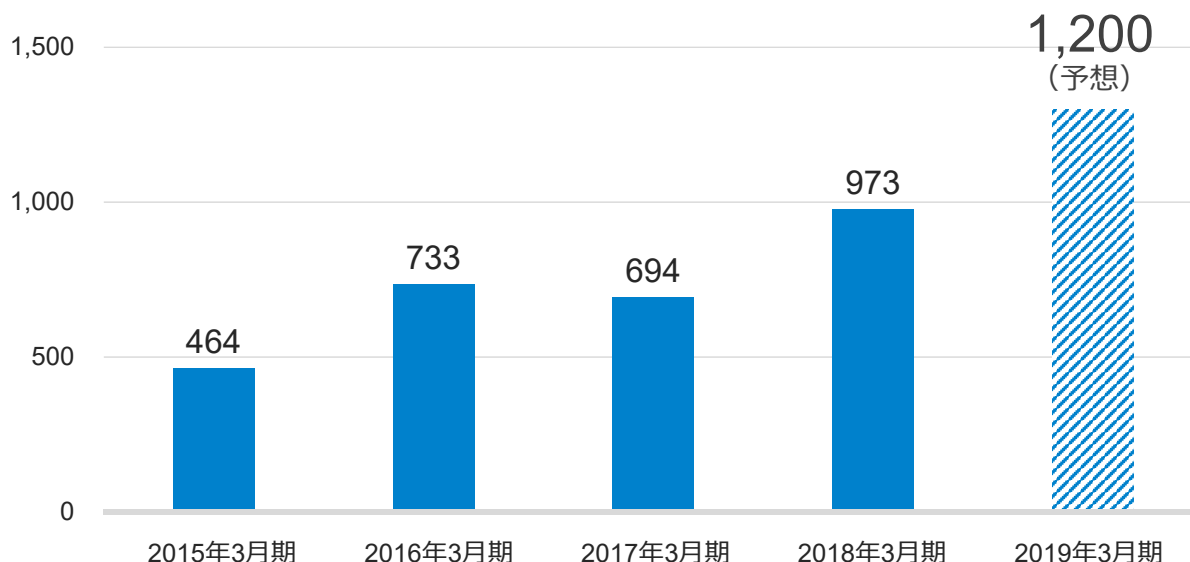
フェーズ3

1 今後の取り組みと成長イメージ

2 2019年3月期 業績予想

前期に量産出荷を開始した次世代画像処理半導体「RS1」の
販売数量拡大に注力することにより、売上高前期比23%増を見込む

売上高 (単位: 百万円)



RS1の販売数量増およびAI製品・サービスの拡充により、
売上高、営業利益、経常利益ともに増加

(単位: 百万円)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (予想)	前期比	
			(金額)	(増減率)
売上高	973	1,200	227	23.2%
営業利益	69	100	31	43.3%
経常利益	66	100	34	50.6%
当期純利益	109	90	△19	△17.6%